

## 学校研究のテーマ

「児童生徒一人一人が自分の力を発揮し、よりよい生活を送るために必要な資質や能力を育むことを目指した授業づくり」

— 自立と社会参加に向けた自立活動の指導を通して —

### 〈テーマ設定の理由〉

#### 自立活動の充実

- 昨年度までの研究では、自立活動の視点が不十分だった。
- 本校の重点目標や各学部の改善又は努力する事項に、自立活動の充実が挙げられている。
- これから育成すべき資質・能力の3つの柱との関連が大きい。

### 〈研究仮説〉

#### 協働で検討・検証しながら授業づくり

- 児童生徒のよりよい生活に必要な資質や能力の明確化
- 指導内容や支援の方法、評価方法などについて協働で検討・検証しながらの授業づくり
- ☆ 児童生徒が主体的に力を発揮しながら生活を送ることができるようになるだろう。

### 〈研究の目的〉

#### 主体的に力を発揮・よりよい生活

- 児童生徒が主体的に力を発揮しながらよりよく生活を送れるような資質や能力を身に付けることを目指した自立活動の指導の在り方について研究を進める。



もう一度ここで自立活動について  
皆でしっかりとおさえるんだ。

石支のチーム力、学校力の  
パワーアップだね。



### 〈1年次〉

#### ○重点目標

- 児童生徒が主体的によりよい生活を送るために必要な資質や能力について自立活動の視点において協働で整理し、指導内容や支援の方法等についての改善・向上に努める。

#### ○研究の進め方

- 縦割りの4つのグループで研究を進める。
  - ・ 情緒の安定
  - ・ 社会性・人間関係
  - ・ 身体の動き
  - ・ 認知特性

対象児童生徒の実態や必要とされる資質・能力、その支援方法などについて検討



キャリア教育指導内容表との照らし合わせ



各グループ3回の研究授業



「校内研究に係る研修会」で授業についての研究協議・外部講師からの指導助言



研究の経過と成果、課題について中間報告

### 〈2年次〉

#### ○重点目標

- 自立活動の視点において整理した資質や能力の育成を目指した授業において PDCA サイクルによる評価・改善を行い、児童生徒の自立と社会参加を促す授業の充実に努める。

#### ○研究の進め方

- 学部ごとに小グループで研究を進める。

整理された資質・能力と対象児童生徒の個別の指導計画等との関係を確認



協働での授業づくり（特に評価方法について検討・検証）



各小グループで研究授業



他グループと研究経過や成果、課題の情報交換



「校内研究に係る研修会」で授業についての研究協議・外部講師からの指導助言



全体報告会（2年次の研究の経過と成果、課題について）・研究集録の作成